

# 幸福実現News 創刊号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

発行所 幸福実現党本部 東京都中央区銀座 2-2-19 〒104-0061  
電話 03-3535-3777 © 幸福実現党本部 2009 年

## 幸福実現党の不況ストップ提言

# 鳩山政権下で迫る「10年不況」

## 民主党「マニフェスト不況」が現実には!?

鳩山政権が発足してから1カ月弱だが、この政権がもたらす日本の行方が見えてきた。それは現在の不況を一層押し進め、「10年不況」を引き起こしかねないというものだ。全国143のダム建設中止検討、中小零細企業の返済猶予（モラトリアム）など、経済に急ブレーキをかける政策が次々と打ち出されている。今こそ、経済に統制をかける流れを断ち切り、「自由」と「責任」を旗印とする政策が求められている。

**公共事業見直しで建設不況と大量失業**  
鳩山政権が打ち出す政策は、不況を押し進めるネガティブなものが多い。

前原誠司国交相は、143のダム事業の中止を検討すると表明。群馬県の八ツ場ダムの建設中止を公共事業見直しのモデルケースとしたい考えで、今後、全国で公共投資のカットが相次ぐことになる。

民主党は公共事業費7.9兆円を全面的に見直し、1.3兆円を浮かせるとしているが、ある民間シンク

タンクはこれによって今年度後半に国内総生産（GDP）を約20兆円押し下げると試算している。

このままでは、建設業・ゼネコン不況を引き起こし、大量の失業者を生む危険性が高い。

さらに前原国交相は、不採算の地方空港の整備を中止する方針を表明した。確かに日本航空の経営危機や地方空港の赤字など航空業界は不振が続いているが、

さらに前原国交相は、不採算の地方空港の整備を中止する方針を表明した。確かに日本航空の経営危機や地方空港の赤字など航空業界は不振が続いているが、

CO<sub>2</sub>削減、返済猶予で日本経済に大ダメージ  
鳩山由紀夫首相が表明した温暖化ガスの大幅排出削減や、亀井静香金融相が主張する返済猶予（モラトリアム）も、日本経済に壊滅的なダメージを与えるもの

「交通革命」が予想される。そうならば地方空港が活性化されるだけでなく、広い河川敷が滑走路に使われるなどして、これまでにない自由な移動手段が手に入る。

今の時点で地方空港の整備を止めれば、都市と地方の格差を広げるうえ、未来社会の到来を遅らせることになる。

鳩山首相は国連演説で、2020年の温暖化ガスの排出量を1990年比で25%削減する目標を表明。このまま排出削減を進めれば、2020年にGDPを3.2~6.0%押し下げ、失業者が多くて120万人増えるという試算もある。

また、亀井金融相が強硬に主張する中小零細企業の返済猶予は、巨額の返済をストップさせ、金融機関の業績をたちまち悪化させる。加えて、金融機関は新規の融資に消極的になり、中小零細企業は資金繰りに一層苦しむことになってしまふ。つまり、返済猶予は市場への資金供給を一気に減らし、貸し渋り倒産を増やす結果となる。

亀井金融相は金融機関がこれまで貸し渋りや貸しはがしで中小零細企業を苦しめたとして、「金融機関を処罰」しようとしている。導入されれば、銀行の不良債権を増やして信用を下げ、株価も下げる。金融不安が広がり、日本経済の根幹が大きく揺らぐ。こうした政策は明らかに間違っている。

貸し渋り・貸しはがし対策をやるならば、政府紙幣を発行して、資金繰りに困っている中小零細企業向けの特別融資枠をつくり、

化炭素（CO<sub>2</sub>）原因説はまだ仮説にすぎず、最近では根拠を崩す学説も次々と提出されている。間違った前提の下に日本経済に打撃を与える政策が展開されようとしているのだ。

鳩山政権は火力発電を原子力発電などに切り替える方針を出しているが、閣内には反対意見も根強い。ダム建設中止で水力発電も頭打ちで、エネルギー確保の方策が不明確だ。

また、亀井金融相が強硬に主張する中小零細企業の返済猶予は、巨額の返済をストップさせ、金融機関の業績をたちまち悪化させる。加えて、金融機関は新規の融資に消極的になり、中小零細企業は資金繰りに一層苦しむことになってしまふ。つまり、返済猶予は市場への資金供給を一気に減らし、貸し渋り倒産を増やす結果となる。

亀井金融相は金融機関がこれまで貸し渋りや貸しはがしで中小零細企業を苦しめたとして、「金融機関を処罰」しようとしている。導入されれば、銀行の不良債権を増やして信用を下げ、株価も下げる。金融不安が広がり、日本経済の根幹が大きく揺らぐ。こうした政策は明らかに間違っている。

貸し渋り・貸しはがし対策をやるならば、政府紙幣を発行して、資金繰りに困っている中小零細企業向けの特別融資枠をつくり、

資金の供給を増やすべきだろう。

### 幸福実現党は「自由の大国」を目指す

政権が発足してわずか1カ月弱で、日本経済の成長を止めるような政策を次々と強行すること自体、この政権が社会主義的な方向性を持っていることを示している。今後、子ども手当や高校無償化などで一時的に家庭の可処分所得が増えるだろうが、その後は10年続くような構造不況が起こると見ていいだろう。

社会主義色の強い現政権

に対して、谷垣禎一氏を新総裁に選出した野党・自民党もリベラル路線をとり、対立軸を打ち出せていない。減税や規制緩和など「自由化政策」を訴え、経済成長を実現しようとしているのは幸福実現党だけだ。

国民や企業の「自由」を守り、その領域を広げることによって、各人が持っている知恵や努力を引き出され、経済は繁栄する。日本や世界が社会主義化していく中で、日本を「自由の大国」とするために戦い続けることに、幸福実現党の存在意義がある。

### 《鳩山政権が打ち出す政策の問題点》

- 1 全国143のダム建設中止**  
建設・ゼネコン不況を引き起こし、大量の失業者を生む。即刻見直しを。
- 2 不採算空港の整備中止**  
都市と地方の格差を広げ、「空の便」がさらに発達する未来社会の到来を遅らせる。即刻見直しを。
- 3 CO<sub>2</sub>を90年比25%削減案（鳩山イニシアチブ）**  
製造業を中心に国内外で大不況を新たに作り出す。即刻見直しを。
- 4 亀井金融相による返済猶予（モラトリアム）法案**  
貸し渋り倒産が増える。金融機関の不良債権を増やして信用を下げ、株価も下げる。政府紙幣の発行等で特別融資枠をつくり、資金の供給を増やすべきだ。



八ツ場ダムに架かる橋脚を見る観光客ら。注目度が上がり、訪れる人も多い（群馬・長野原町）



# 「国民の幸福を実現するために 戦い続けます」



木村智重党首、語る

# 幸福実現党 参院補選に 候補者を擁立 神奈川・静岡

幸福実現党は、この度の参議院議員補欠選挙(10月8日告示、10月25日投票)に候補者を擁立した。民主党政権への期待が高まっている今、他党が選挙戦を制するのは厳しい情勢だと言える。それでもあえて、幸福実現党は今回の参戦を決めた。木村智重党首に、その志と気概について語ってもらった。

## 志は崩れない

私たち幸福実現党は、10月の参院補選に参戦いたします。

「衆院選で全員落選したのに、懲りない政党だな」とあきれられる方もいらっしゃるでしょう。それでも私たちは、やり続けます。

なぜそこまでやるのか。第一に、私たちの志は決して崩れないことを世に示すためです。

私たちが立党したのは、自分たちの利害のためではありません。「長期不況や国防の危機という『国難』から、国民を救いたい」という純粹な願いと「日本を自由の大国とし、繁栄の未来を開かん」という志ゆえです。

私たちは、新しい時代を創るために活動を始めたのです。一度、敗北したら止めるような、そのような弱い念いで始めたものではありません。

馬鹿だと言われようが、私たちが、誠実に、愚直



に、真剣に、訴え続けていく中で、私たちの思いを受け止めてくださる方は、確実に増えていくものと信じます。

## 国難は終わっていない

第二の理由は、民主党政権による「国難」をできる限り、事前に食い止めたからです。

今、政権交代が起きたばかりの段階で、批判するのにも辛いです。国難の足音は日増しに強くなっています。

鳩山首相は、経団連を利益団体として悪と見ているようです。企業の利益があつてこそ税金があるという認識が弱いのです。鳩山氏の「坊ちゃん左翼の本質」が出てきており思想的に怖いものがあります。ダムをはじめ公共事業を中止し、その予算を子供手当などのバラマキに使おうとしています。どうも「投資と消費の区別がつかない」といいます。そして三つ目に、しかし、

## 危機の時代の 灯台として

そして三つ目に、しかし、

そうした日本の危機の時代に、幸福実現党の主張が見直され、必要とされる時が必ずやってくると確信しているからです。

「危機の時代の灯台」として、「幸福実現党、ここにあり!」。その時のためにも、「責任政党」として正論を主張し、この国の進むべき方途を光として示し続けたいと思います。

来年7月の参院選にも正々堂々と挑みます。さらに、今後行なわれる市議会議員選挙や区議会議員選挙などにも、候補者を立てていく予定です。それによって、各地域の細やかなニーズに対応し、一人一人の幸福を実現できる「地域に根ざした政党」ともなっていくと考えています。

## 新たな国への志

幕末の志士たちを数多く輩出した吉田松陰先生に、「志定まりて、気盛んなり」という言葉があります。

私たちが今、「新たな国づくり」の志が定まり、やる気と情熱に満ち満ちております。「未来政党」として、常に明るく前向きです。この国の未来のために、打たれ強く不転で、戦いを続けていく決意であります。

私自身、「この事業、成就せざんば、今世の命、生き長らえても意味なし」と感じています。一人でも多くの同志が、共に戦ってくださることを祈ります。

WHO IS BUDDHA?

世界が闇に沈むとき、仏陀は再びよみがえる。

映画原作 840円(税込)

仏陀再誕  
大川隆法著

10月17日(土)全国ロードショー www.buddha-saitan.jp

幸福の科学出版

自殺者を減らそうキャンペーン

幸福の科学では、全国100カ所以上の地域において、幸福の科学の有志が定期的に、駅前等で横断幕を掲げ、自殺防止を拡声器で呼びかけたり、自殺防止のリーフレットを配布しています。自殺志願者に話しかけられることも多く、生きる勇気を取り戻された方も数多く生まれています。もし今、あなたが悩みの中にあるなら、ぜひ幸福の科学の支部や精舎を訪ねてください。きっと、生きる希望や悩み解決のヒントが見つかるでしょう。 <http://www.withyou-hs.net/>

幸福の科学では、2003年から「自殺者を減らそうキャンペーン」を全国で展開しています。

